

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年7月24日(13:00～13:30)

1.初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 河口ホーム長・青木・岡本・河井・谷口・高田・河野・宮崎・江尻・中橋

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	11人	3人	0人	14人

## 前回の改善計画

全体会が再開されたため(1～2ヶ月に1回)その機会にミーティングをすることが望ましいと思う。カンファレンスノートを見ず見ることを徹底する。大事なことは口頭ではなくノートに書くようにする。仕事始めに申し送りノートを見る。サインも一項目ごとにする。

## 前回の改善計画に対する取組み結果

カンファレンスノートを見ず見ることにサインをする事は徹底できている。時間外に全体会をしていたのでミーティングをする事がなくなった。ノートを見たつもりでも記憶がない事があった。

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	8	2	0	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、必要としている支援ができていますか?	5	9	0	0	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	7	7	0	0	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	10	0	0	14

## できている点

情報やニーズについてはノートなどで共有でき把握できている。本人や家族・ホーム長やケアマネを交えて必要とされている支援など話し合いはできている。本人を支えるために家族との良い関係作りにも配慮できている。利用開始後はしばらく見守りできる部屋や席に配慮し安全確保している。初期支援としてご本人・家族に対して不安を受け止め関係作りのため話を聞く時間をとった。

## できていない点

新規利用者の情報用紙は事前に目を通してあるがミーティング等を通じて問題点を話し合ったりはなかなかできておらず分からない情報もある。全体会ができていないので意見交換の場は必要であると思うが勤務時間外に全体会を行う事が難しい。新規のご利用者様が一度に集中すると混乱することがあった。

## 次回までの具体的な改善計画

月に1回ミーティングの日を設ける。参加できない人はそれまでに意見を出しておく。カンファレンスノートの活用は今後も徹底していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元 年 7 月 29 日 ( 13 : 0 ~ 13 : 30 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 河口ホーム長・青木・中谷・高田・小笠原・中橋・江尻

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	11 人	2 人	0 人	14 人

前回の改善計画

職員間でもっと話し合うことが大切だと思う。皆の意識を高める。一日の終わりにリーダーがチェック、記入する。

前回の改善計画に対する取組み結果

皆の意識は高まっていると思う。その日の利用者の目標を毎朝読んでいる。一日の終わりにリーダーがチェック記入する所ができていない。職員間で話し合う時間がなかなかとれない。個々の責任感もできている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	2	11	1	0	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	12	1	0	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	13	1	0	14
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4	7	3	0	14

できている点

情報等により担当者が目標を決め、仕事始めにリーダーが読み上げ目標に沿って日々関わっている。自分が関わった介助や対応についてはしっかり発言し次の対応や他職員への申し送りもできている。安全の確保と穏やかな日々を過ごせるよう支援している。本人や家族との関わりを持ち「～したい」気持ちに寄り添っていると思う。本人の目標について家族に意向の確認はできている。

できていない点

本人からの意思表示が難しく本人の「～したい」を聞き取る事ができない。関わろうと努力はするが、ほぼ関わられてあげれていない。本人のしたい事と家族の要望が一致してない事もあり難しいことがある。本人の当面の目標や実践内容のミーティング評価ができていない。

次回までの具体的な改善計画

個人目標の用紙に家族の要望を記入する所も作り明確にする。面会時など家族に伝える時に要望された事について伝える。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元 年 7 月 29 日 13:00~13:30

3.日常生活の支援

メンバー 河口ホーム長・青木・中谷・高田・小笠原・中橋・江尻

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	10 人	4 人	0 人	0 人	14 人

**前回の改善計画**  
 日々の関わりの中で心境の変化・体調の変化にきずくことができる。以前の改善計画の項目を作り、皆で共有する。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
 できている。日々のバイタル確認や関わりの中での変化や体調の様子の変化に気を配っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	7	6	1	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	11	3	0	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	9	3	0	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	12	2	0	0	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	9	5	0	0	14

**できている点**  
 介護についてはその時の状況によって対応できている。食事については本人に合った食事形態(ミキサー・きざみ)に細やかに対応している。本人がトイレに行きたいとの事であれば立位の難しい方でも二人介助にて行っている。少人数の為関わりが多く変化に気付く事が多い。

**できていない点**  
 入浴については座位のとれない方はシャワー浴のみとしており(毎回)状況に合った入浴とは言えない。以前の暮らし10個は把握できていない。利用されたり泊まられると様子が見れるので色々分かってくる。ミーティングの回数が減っており本人の声にならない声の言語化が十分にはできていない。介助の統一ができなく、できることまで介助している事がある。

**次回までの具体的な改善計画**  
 介助についてのミーティングを行い介助の統一制を計る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年8月7日(13:00～13:30)

4.地域での暮らしの支援

メンバー 河口ホーム長・高田・宮崎・岡本・江尻・中橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	9人	4人	1人	14人

**前回の改善計画**  
 地域との関わりは難しいところがある。これまでの関わり・今の関係を崩さないよう良い関係を取り持つ。利用前に面談にて地域との関わりを確認する。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
 ボランティアの訪問や公民館活動の参加などできている。散髪を利用している。面談にて地域の関わりを伺ったがそれを皆にフィードバックできていない。公民館などに行っているがごく一部の方だけである。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	13	1	0	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	12	2	0	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	11	3	0	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	9	4	1	14

**できている点**  
 運営推進会議等でご本人をとりまく近所や知人等との関わりを調整している。地域であるあじさいの会などに参加している。ホーム長やリーダーから聞ける。地域との関わりがある方や持ち込み要望にも対応している。ボランティアや散髪などで関わりを保ち他方面から支援できている。利用が終了しても連絡を取っているご家族もおられる。

**できていない点**  
 民生委員や地域の資源の情報が不足している。自宅で一人暮らしで認知症のある方の生活について分からない事が多い。小規模利用以前よりもともと地域との関わりのない方も多くいるように感じている。

**次回までの具体的な改善計画**  
 ホーム長やリーダーに把握してもらった情報を職員間で共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年8月8日(13:00～13:30)

5.多機能性ある柔軟な支援

メンバー 河口ホーム長・高田・江尻・小笠原・青木・中橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	6人	5人	0人	14人

**前回の改善計画**  
利用者様に必要な地域の資源の架け橋ができるように、そのためにはスタッフが勉強し理解する必要がある。  
SOSネットワーク・成年後見制度等の情報を知り提供する。一覧を作り勉強会をする。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
勉強会はできていない。SOSネットワークや成年後見制度は知っているが理解していない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たちの事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	4	4	4	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	10	4	0	0	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	9	4	1	0	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	10	4	0	0	14

**できている点**  
ニーズに合わせ対応できている。少人数であるため密に関わっており、状態など変化に気付いた時はすぐに対応できている。本人や家族の必要時には泊まりや通いにしたり本人に必要な暮らしの支援を行っている。地域の資源(受診等)で相談している。

**できていない点**  
地域の資源が分からないため、使う事も分からない。地域資源の活用が少ない。民生委員や近所の人との関係作りが必要。通いについて回数を増やして欲しいと要望はあっても定員人数がオーバーしてしまうため受けきれない。必要な時に必要なだけ利用できる量がどれだけかが難しく感じる。

**次回までの具体的な改善計画**  
利用者さんの行動されるお店等に一緒に行き、あいさつし何かあった時には連絡してもらえるよう地域の方をお願いし顔つなぎしていく。緊急時の支援はしっかりできているので継続していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年8月11日(13:30～13:40)

6.連携・協働

メンバー 河口・青木・高田・古江・宮崎・中橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	9人	5人	0人	14人

**前回の改善計画**  
案はいくつか出ているも実現は出来ていない。利用者様の安全面を考えると難しい。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
運営推進会議を通しては行えている。イベントへの参加についてまだ少ない。前回の課題を理解していなか

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス期間(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行なっていますか?	2	7	4	1	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	8	4	0	14
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	5	2	6	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	3	3	8	14

**できている点**  
回数的には少ないが参加できている。コミュニティーの行事で参加できそうな方には声かけし参加している。市民センターでの催しや地域のイベントに参加されている。ボランティア訪問を行っている、

**できていない点**  
自治体や地域包括支援センターとの会議・その他のサービス機関との会議を行っているが把握していない。地域の機関・団体の活動・イベントを知らない。利用者の身体的・精神的レベルを考えると難しい。

**次回までの具体的な改善計画**  
小規模多機能ホームを知ってもらう為の働きかけを行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年8月19日(13:30~14:00)

7.運営

メンバー 河口・高田・谷口・江尻・河野・宮崎・

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	10人	4人	0人	14人

前回の改善計画

運営推進会議の議事録は必ず目を通す。お買い物ツアー、外食等計画を立てて行ったら喜んでもらえるのでは?近所に出かけるのも地域との関わりになる。要望を少しずつでも受け入れ変わってきている。

前回の改善計画に対する取組み結果

利用者のレベルが下がっており買い物・外食等が難しくなっている(ミキサー食の方も多)。ドライブは行っている。外出計画を立て外へもっと出ていこうにしたい。運営推進会議の議事録は最後まで目を通せていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	0	12	1	1	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	9	0	0	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	12	0	2	14
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行なっていますか?	0	10	2	2	14

できている点

利用者・家人など意見があればすぐに対応している。健康フェアを通じて地域との関わりは行っている。意見(質問)は言う事ができる環境にある。サービス向上のため直接電話連絡等での苦情もすぐに対応し反映できている。計画を立てて外出もしているが、外出できる利用者が少なくなりつつある。

できていない点

事業所のあり方がよく分からない。通いをベースに急なお泊りに対応している小規模多機能が連泊が多く施設化している。近所に出かけるという事がなかなか難しい。地域との関わりが少ないので意見や苦情ももらえていない。

次回までの具体的な改善計画

運営推進会議の議事録はとじる前に申し送りノートにて回覧する。外出・買い物ツアー等計画して実施する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元 年 8 月 19 日 ( 13 : 30 ~ 14 : 0 )

8.質を向上するための取組み

メンバー 河口・高田・谷口・江尻・河野・宮崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	9 人	3 人	0 人	14 人

前回の改善計画

資料を回覧する。研修内容を全体会の時に報告するようにする。 現在地域連絡会がなく行われていない。

前回の改善計画に対する取組み結果

全体会での報告ができていなかったため研修内容の共有ができていない。研修会の参加の機会が少なかった。現在も地域連絡会が行われていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内、職場外)を実施・参加していますか	5	5	3	1	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	1	2	8	14
③	地域連絡会に参加していますか	0	2	3	9	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	12	0	0	14

できている点

法人内での研修は毎回参加できている。ヒヤリハットを通じて気をつけている。院内・院外とも積極的に研修に参加している職員もいる。

できていない点

地域連絡会は今、行われていない。院外研修に行かれない。リスクマネージメントの取組みの中でヒヤリハットをなくす、うっかりミスをなくす事をこれからももしっかりやっていく。

次回までの具体的な改善計画

院外研修を1人年に2回は参加する。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元 年 8 月 19 日 ( 13 : 30 ~ 14 : 0 )

9.人権・プライバシー

メンバー 河口・高田・谷口・江尻・河野・宮崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8 人	6 人	0 人	0 人	14 人

**前回の改善計画**  
プライバシーについては特に排泄介助時、個々で注意していく。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
できている。注意して行うように気をつけている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	12	2	0	0	14
②	虐待は行なわれていない	14	0	0	0	14
③	プライバシーが守られている	6	8	0	0	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	10	3	1	0	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	10	3	1	0	14

**できている点**  
できているが排泄の事等もう少し注意しなければならない場面もある。

**できていない点**  
車椅子の人の時、トイレが狭く中が見えるので可哀想な時がある。成年後見制度について理解不足である。基本情報のファイルがどこにいったか分からなくなる事がある。離棟する利用者様がいらっしゃるのでその方に対しては施錠を行っている。

**次回までの具体的な改善計画**  
人権プライバシーは行えているか今後も引き続き注意していく。

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表(2019年度)

法人名	医療法人みやうち	代表者	野村陽平	法人・事業所の特徴	併設の病院を中心とした、近隣事業所との交流を行い、ご利用者様が、閉じこもることのない環境を提供している。また、個々の健康に配慮し、体調の変化に注意しながら、病院スタッフとも連携をとり、異常の早期発見に努め、ご本人はもちろんご家族にも安心して生活していただけるようにしている。
事業所名	小規模多機能ホーム 宮内温泉湯治の館ひまわり	管理者	河口美栄		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	1 人	0 人	2 人	1 人	0 人	2 人	2 人	0 人	9 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	口頭での職員間での周知徹底ではケアを共有することが難しいので大切なことはノートを活用していく	利用開始時などご利用者様の状態がより詳しく理解できるように、基本情報の内容の改定を行った	職員皆で自己評価を行っていることが分かった	ご利用者様の心身の状態や生活を理解することによって職員の意識や介護レベルを上げていくようにする
B. 事業所のしつらえ・環境	足湯を利用するなどして、事業所に入りやすい工夫を行っていく	足湯は手すり等の必要性から利用が難しかったが、ご家族などが気軽に来訪できるように、消毒液やマスクを備え、インフルエンザ等の感染予防にも配慮しながら清潔な環境整備に努めることができた	敬老会やクリスマス会に出席することができ、施設の様子を知ることができた	事業所の様子が分かるように、これからも地域の方やご家族様に催しのご案内を行い、参加を促して環境を多くの人に見てもらおうように努力する
C. 事業所と地域のかかわり	作品展や健康フェアを通じて、知ってもらえるように今後も継続していく	法人全体で取り組んでいる、健康フェアを活用することができた。敬老会には家族会と兼ねて食事会を行うことで、ご家族や地域の人との交流を行った	まだまだ地域に知られていないので、ご近所の方と一緒に消防避難訓練を実施してはどうか	消防避難訓練は、法人全体で取り組んでおり、自治会を通じて行っている。今後も法人全体で地域の皆様を知っていただくように努める
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	認知症カフェへの参加を継続していく。事業所内だけでなく、近所の人とも話ができるように外出を増やしていく	市民センターでの集いに参加できた。健康フェアではバザー等に参加することができた。	参加の人数を増やし、これからも、地域に出向いていくことが大切である	ご利用者様の興味や関心ごとを知り、催しなどの参加に出向くことを継続していく
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域の心配の方々の事例検討など、運営推進会議を活用し話し合えるように努めていく	事例検討などは行えなかった。会議では、行事報告や利用者様の状態像の報告などで終わっていた	運営推進会議の開催案内を発送する時に、事前に議題を提示してもらえれば、それについて準備することができるので、それをお願いしたい	時間に限りがあるため、いつも同じ内容に終始している。出席の皆様にごどんなことを話し合いたいのか、お聞きする
F. 事業所の防災・災害対策	今後も事業所の防災計画について話し合ったり、防災訓練を通じて、事業所が頼りになる存在であるようにしていく	写真を交えて伝えることができた。法人主導で、コミュニティと一緒に大規模避難訓練が実施できた	まだまだ地域に知られていないので、ご近所の方と一緒に消防避難訓練を実施してはどうか	法人全体で取り組むもの、また当事業所だけで行っている災害避難訓練の様子を引き続き運営推進会議で報告していく